

CPC レポート作成にあたって

単なる『レポート』とはしてはいますが、近い将来、絶対1編は書くであろう case report をイメージして作成して下さい。臨床医としての目線が大事なのであって、病理所見を事細かに書いて字数を増やす必要はありません。

- ・臨床経過：簡潔に事実のみまとめます。ここに自分の解釈や考察は必要ありません。
- ・臨床上の問題点：CPC 内で主治医が挙げたことを書きます。自分なりの問題点を挙げて考察につなげても構いませんが、分かるように書き分けて下さい。
- ・病理診断：病理医の診断（主病変・副病変）を勝手に変えてはいけません。変えた場合は、病理的解釈が出来ていないものとみなされます。病理所見の詳細を書く必要もありません。
- ・考察：Discussion の項です。①一般論をまとめ、②本症例との合致点・相違点、③そこから自分が何を考えたか、大まかに3段落ぐらいが理想的です。
参考文献を引用したところには、*)もしくは^{1), 2)}等とし、参考文献の欄と紐づけて下さい。

以上、再提出にならないよう頑張ってください。

2023年8月 病理診断科